

ワサビ

(水系で栽培するワサビには、「野菜類」に登録がある農薬のうち食品添加物または生物農薬で、水産動植物に対する影響のおそれのないもののみが使用可能。

農薬の選択・使用に当たっては、農業改良普及センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

なお薬剤名に「★」がある剤は、畑育苗期のみ使用可の薬剤なので注意する。)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	灰色病	うどんこ病	べと病	白さび病	アブラミシ	コナジラミ	コナギンウワバ	タマナギンウワバ	ウリノメイガ	ハイマダラノメイガ	オオタバコガ	アオムシ	ヨトウモリ	シロイチモジ	ハスモンヨトウ	ナトビハムシ	ハダニ
アグロケア水	BM2		1	1	◎	◎															
エコショット水	BM2		1	1	◎																
パチスター水	BM2		*a	1	◎	◎															
ボトキラー水	BM2		*a	1	◎	◎															
★アミスター20FL	11		*i	2				◎													
★ランマンFL	21		*i	2				◎													
★アリエッティ水 ^{*1}	P7		*i	3				◎													
エコビタ液	-		1	1		◎			◎	◎											◎
エコマスターBT水	11A		*b	-						◎					◎	◎	◎	◎	◎		
エスマルクDF	11A		*b	-						◎					◎	◎	◎				
サブリナFL	11A		*b	-						◎					◎	◎			◎		
ジャックポット顆水	11A		*b	-						◎					◎	◎		◎			
ゼンターリ顆水	11A		*b	-						◎					◎	◎		◎	◎		
チューンアップ顆水	11A		*b	-						◎		◎	◎	◎	◎	◎					
デルフィン顆水	11A		*b	-						◎		◎			◎	◎		◎	◎		
トアローFLCT	11A		*b	-						◎					◎	◎					
トアロー水CT	11A		*b	-						◎						◎	◎				
バシレックス水	11A		*b	-						◎	◎					◎	◎		◎		
フローバックDF	11A		*b	-						◎					◎	◎		◎	◎		
コナガコンーplus ^{*2}	-		*e	-						◎					◎						
コンフューザーV	-		*e	-						◎	イ				◎			ガ	◎		
ヨトウコンーH	-		*f	-															◎		
ヨトウコンーS	-		*g	-														◎			
★トレボン粒剤	3A		*i	1																◎	
★アドマイヤーFL	4A	劇	*i	3					◎												
★アルバリン顆溶																					
★スタークル顆溶	4A		*i	3					◎											◎	

*1:「わさび(根茎)」での登録

*2:「コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等」での登録

*a:発病前～発病初期 *b:発生初期(但し収穫前日まで)

*e:対象作物の栽培全期間 *f:成虫発生初期～終期まで

*g:シロイチモジヨトウの発生初期～終期 *i:畑育苗期

イ:タマナギンウワバ及びイラクサギンウワバ ガ:ヨトウガ 雄:雄成虫

※本表は、使用可能な農薬をできるだけ多く掲載するため、通常は水ワサビに発生しない病虫害名も一部掲載している。

※フェロモン剤は落下等により水系を汚染しないよう、取り扱いに十分注意する。

ワサビ*1

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
苗立枯病 墨入病	育苗期 植付前 植付後	・発病株はただちに抜き取る。 1. 苗は無病株より株分けする。切口に黒い輪紋のないものを選ぶ。 2. 実生苗を利用する。 1. 水管理は軟腐病に準ずる。 2. 被害の多いところでは収穫を早める。	感染母茎からの苗伝染が最も多い。また、水生害虫などの食害痕が菌の侵入口となる。
白さび病 ・ べと病	植付前 生育期	・無病苗を植付ける。 ・発病した葉や花梗は早めに処分する。	若い葉ほど侵されやすい。5～6月および9～10月に発生が多い。
軟腐病	植付前	1. 無病苗を使用する。特に割口の変色していないものを選ぶ。 2. 実生苗を利用する。 3. 樹陰などで水温の上昇を抑える 4. 常に冷水(13～15℃)がかかるようにし、さらに根の周辺に落葉などの有機物や泥がたまらないようにする。 5. 発病地では定植を秋から早春に行い、収穫を早めにする。	水温の高い場所に発生し、夏季高温時に多発する。
萎縮病	育苗期 植付前	1. 種子は無病株から採取する。 2. 苗床に病株を持ち込まない。 3. 寒冷紗などでアブラムシ類の侵入を阻止する。 4. 発病株は抜き取る。 1. 苗は健全な実生苗、健全株から株分けした苗、またはメリクロン苗を用いる。 2. アブラムシ類の寄生を阻止する。 3. 発病株は抜き取る。	タバコモザイクウイルス(TMV)、キュウリモザイクウイルス(CMV)およびカブモザイクウイルス(TuMV)の3種のウイルスによっておこる。 TMVは種子、種茎、汁液などで、CMV、TuMVは種茎、アブラムシによって伝染する。
アブラムシ類	育苗期 生育期	1. 育苗施設ではサイドネットや入り口に侵入を防止する防虫網を設置する。 2. 以下の薬剤も使用可能である。 エコピタ液剤* 100倍	*野菜類での登録
カブラハバチ	育苗期 生育期	1. 育苗施設ではサイドネットや入り口に成虫の侵入を防止する防虫網を設置する。 2. 幼虫は見つけ次第捕殺する。	

ワサビ*1

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アオムシ・コナガ ハイマダ ラノメイ ガ(ダイコ ンシンク イムシ)	生育期	1. 育苗施設ではサイドネットや入り口に成虫の侵入を防止する防虫網を設置する。 2. 幼虫は見つけ次第捕殺する。 3. 以下の薬剤も使用可能である。 チューンアップ顆粒水和剤* 2000～3000倍	*野菜類での登録
その他の病害虫		キスジノミハムシ、ヘリジロカラスノメイガ(シマムシ)、ナガメ、ヒメナガメ	

*1:ワサビ(水系で栽培するワサビ)には、野菜に登録のある農薬のうち食品添加物、または微生物農薬に該当するもので、水産動植物に対し影響のおそれのない農薬、及びフェロモン剤のみが使用できる。(適用農薬一覧表参照)。

※育苗期間中の病害虫防除については、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。